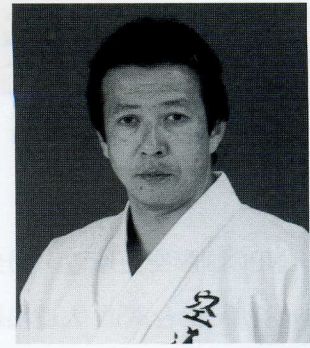


ごあいさつ (30年に感謝)

(社)全日本空道連盟 大道塾盛岡支部

支部長・師範 **狐崎 一彦**



1981年(昭和56年)2月、当時、盛岡支部が仙台市にあった総本部と同時に、盛岡市に誕生し30年を迎えることになりました。この間、本当にいろいろなことがあり多くの方々と出会い、大道塾の空道(空手)人生を通じ貴重な体験をしてこれたこと、なによりの喜びと改めて思うとともに、我が師『東 孝』先生に深く感謝申し上げます。

思えば、大道塾初期時代、東北地区を発祥地に、関東、関西地区の支部道場が設置され、現在国内に100支部を有するまでになったこと。また、併せて、世界50ヶ国以上に支部が設置し、第3回目となる世界大会を開催する勢いにまで成長したことは、東塾長を初め、関係者の並々ならぬ努力があったからだと思います。今日までお世話になった先輩、後輩の道場生の方もいますが、残念なことに別な道に迷い込んだ人や途中、退会された方も多く、懐かしく稽古した日々のが思い出としてよぎります。いずれ、1つの道に思いこめて、それを最後までやり通すことは、大変なことであると感じます。うれしかったこと、つらかったこと、挫折感を何回も味わい、大道塾の空手をやめようかと思ったことなど、どれもこれも、よき思い出なのかとその当時の記憶が蘇ってきます。この紙面ではすべてを語り尽くせない、そんな感じです。多くの方々からの力強い支えがあったからこそ、いまこうして盛岡支部も存在し、活動していることに感謝の気持ちでいっぱいです。若い時は、経験不足からがむしゃらに勢いだけで走ったり、やりすぎたと後になってから反省したりと失敗も多くありました。しかし、その失敗をバネに、それから学びとったことを生かしていくことも経験したような気がします。

『空手』から『格闘空手』、そして突き、蹴り、投げ技、寝技まで認めた総合武道『空道』の確立を目指す大道塾は、この30年を歩み続けこれからも大きく羽ばたこうとしております。大道塾は、厳しい道でもあります、すばらしい魅力を秘めた武道団体でもあります。これからも総本部とともに、盛岡支部も同様に大きく飛躍し、発展できるよう自分に課せられた使命を全うしていきたいと心新たに決意する次第です。

思い出は尽きませんが自分の青春は大道塾とともに歩んできたように思います。好きな道を仲間たちと共に、歩み続けてきたことに悔いはありません。

いま一番に、言えることは、大道塾を続けてきてよかった。すばらしい師と弟子、そして先輩方や後輩、多くの関係者の方々に出会えたからこそ今ここに自分がいる、それは、最高の喜びであると思っております。本当に、この30年の間、ありがとうございます。そして、これからも、なにとぞ、皆様からの温かいご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

押忍